

情報連絡員だより

ー平成 27 年 4 月分の報告よりー

一部製造業は好調を維持
全体的には依然低迷が続く

業 種 / 景 況 天 気 図			概 況
全 体			富士重工関連を中心とした自動車製造業など一部の業種では好調を維持しているものの、全体的な景況感は厳しさが感じられる。天候不順や連休前の買い控え等もあり消費に対して消極的な様子。
製 造 業 	食 料 品		パンは前年の消費増税の落ち込みと比べ安定して推移。菓子は原材料高騰だが販売価格据え置き。製麺は節約志向の継続により、生・乾麺とも厳しい状況が続く。酒造は一部銘柄は好調だが、売上高は前年に届かず。
	繊維・同製品		婦人服地は秋物に期待。輸出向けは引き続き多少引き合いが活発化。伊勢崎織物は販売促進に努めているが、小口商いが多く売上は低調。繊維製品は、ゴールデンウィーク商戦にもかかわらず、商品の動きが鈍い。
	窯業・土石製品		生コンは県央地域で大型物件がなく出荷量減少。コンクリートブロックは雪害復興需要があった前年と比べ大幅に売上減少。コンクリート製品は継続して厳しい状況が続く。砕石は販売価格上昇により、西毛・渋川地域では売上が増加、その他地域では減少し、地域格差が見られる。
	機 械 ・ 金 属		自動車関連は富士重工関連が引き続き好調である一方、一部メーカーの生産調整などの影響があり、厳しさがみられる。また、大手企業によるコストダウン要請があり対応に苦慮。プラスチック金型は自動車関連の好調が続き、他業種の受注が減少するも前年並みに推移。
	その他の製造業		製材は製品単価下落の上、荷動きが鈍化。印刷は選挙関連によりやや受注増であったが、例年並みに推移。ゴム製品は発注先に対し、価格改定を申し出る動きが見られる。紙加工品は食品・自動車関連が好調であるが、全体的には低調で厳しい状況が続く。
非 製 造 業 	卸 売 業		食品関係を中心に卸売価格の上昇が続く中、消費者の買い控えによる収益悪化を懸念。機械器具については設備投資がやや増加傾向のため、売上が増加。農産物卸は春野菜の生育不良により出荷量が減り、野菜相場が高騰。水産物卸も天候不順の影響を受け売上減少。
	小 売 業		家電小売は販売低迷が続く中、リフォーム分野への進出が散見。中古車オークションは低調に推移。ガソリン小売は販売価格が前年比 22 円/ℓ 下落。商店街は菜種梅雨の影響や連休前の買い控えで人出が少なく、今後プレミアム付商品券の効果に期待。
	サ ー ビ ス 業		温泉旅館は草津では火山活動による入込客減少も、大型宿泊施設を中心に売上増加。不動産取引は全体的に消費増税の影響で低調のまま。交通等の利便性の高まりのある高崎市域と比べ、館林市域では取引減少。建物設計は例年並みに推移。
	建 設 業		公共工事は 3 年連続の設計労務単価引上げ等により今後の売上増に期待。電気工事は L E D 関連工事により多忙。塗装工事は大型物件少なく、例年より減少傾向。鉄構業は適正単価に改善されてきている。
	運 輸 業		連休前は長距離輸送で若干の車両不足があったが、全体的には例年よりも稼働率は悪化。天候不順により野菜の出荷にはばらつきがあり、自動車関係はトヨタ、富士重工が好調。燃料価格下落で運賃引下げ要請の動きあり。小口輸送は 4 月より運賃改定する中、売上高・件数ともに減少。